

やつしろ 市議会だより

平成19年6月定例会



▲五家荘溪流キャンプ場（泉町縦木）：球磨川と川辺川源流が交わる溪流で、水遊びや魚釣り、動植物の観察などの野外活動が楽しめます。バンガローを初め、常設テント、炊事場などの施設があります。

《主な記事》

- 6月定例会見出し . . . 2
- 6月定例会議案概要 . . . 2
- 一般質問 . . . 4
- 委員会報告 . . . 8
- 意見書 . . . 10
- 請願・陳情について . . . 11
- 6月定例会審議結果一覧 . . . 12

第8号

平成19年8月1日発行

編集・文責

八代市議会

広報編集委員会

☎0965-32-5984
(市議会事務局)

◎日奈久埋立地整備事業

◎植柳小学校体育館建設事業

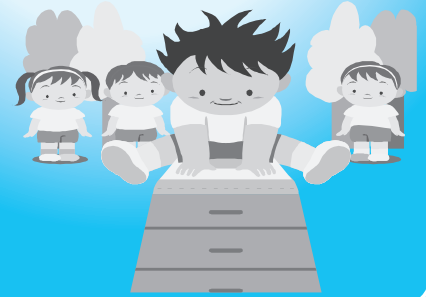
◎林道災害復旧事業

◎経営構造対策事業（農業生産
総合対策事業からの組み替え）など

一般会計補正総額

十七億千九百十万円を原案可決

議案・発議案・陳情など二十九件を議決



六月定例会は、六月四日招集、開会され、補正予算、専決処分の報告、条例など議案二十三件が上程され、市長の提案理由説明の後、六月十一日から十四日の四日間、十四人が質疑・一般質問を行い、委員会審査に付しました。

最終日の二十二日は、冒頭に、全国市議会議長会の永年勤続表彰の伝達が行われ、その後、各委員長より報告がなされ、議案二十三件、陳情一件を議決、議員提出発議案三件を可決、また同日市長から追加提案された人事案件二件を同意して、十九日間の会期を閉じました。

付議事件、一般質問、審査の概要などは、次のとおりです。

六月定例会の議案概要

予算議案・三件

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第一号

歳入歳出予算に十七億千九百十万円を追加するものです。

日奈久埋立地整備事業（十二億六千七百八十九万八千円）、植柳小学校体育館建設事業（三億八千六百六十七万円）、経営構造対策事業（九千七百七十七万五千円）、こどもプラザ事業（六億三千万九千円）などに係る経費などが、主なものです。

◆平成十九年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第二号

歳入歳出予算に五千八百七十七万円を追加するものです。

平成十八年度に概算交付された支払基金交付金などの超過交付されたものを返還するものです。

◆平成十九年度八代市診療所特別会計補正予算・第一号

歳入歳出予算に五十四万三千円を追加するものです。

下岳診療所の在宅酸素療法患者用の酸素濃縮装置等のリース契約を行うものです。

事件議案・十八件

◆専決処分の報告及びその承認について

・熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、共同処理する事務変更及び規約の一部変更について
組織する地方公共団体数の減少、共同処理する事務の変更、及び地方自治法改正に伴い、改正したものです。



植柳小学校体育館完成予想図

・八代市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

熊本県の規定改正に伴い、受給資格者及び一部負担金の定義を改正したものです。

・八代市市税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、市たばこ税の税率、住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置等を改正したものです。

・八代市国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額を改正したものです。

・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

法律の改正に合わせ、扶養親族となる子、父母等の扶養手当月額を改正したものです。

・八代市職員定数条例の一部を改正する条例

市長部局と教育委員会の組織再編に伴い、職員の定数を改正したものです。

・平成十八年度八代市一般会計補正予算・第九号

後期高齢者医療制度の創設に伴う電算システム開発の準備経費や職員の死亡等に伴う退職手当、日奈久温泉施設特別会計などへの繰出金が主なものです。

・平成十八年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第三号

・平成十八年度八代市介護保険特別会計補正予算・第三号

後期高齢者医療制度の創設に伴い、電算システムの改修を行ったものです。

・平成十八年度八代市日奈久温泉施設特別会計補正予算・第二号

使用料の収入不足に伴い、歳入調整を行ったものです。



改築が予定されている日奈久温泉センター

・平成十九年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第一号

平成十九年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第一号
平成十八年度決算において、歳入不足が生じたことから、平成十九年度予算をもって繰り上げ充用を行ったものです。

◆八代市総合計画基本構想を定めることについて

来年度から平成二十九年年度までの十年間の計画を策定するものです。

◆あらたに生じた土地の確認について

◆町区域の変更について
公有水面埋め立てにより新たに生じた土地を確認し、町区域を変更するものです。

◆市道路線の廃止について

◆市道路線の認定について
既設の市道一路線について終点の変更が生じたため、路線を一たん廃止し、市道として再認定するものです。

◆契約の締結について

八代市水処理センター改築工事について、契約を締結するものです。

条例議案・二件

◆八代市東陽地域福祉保健センター条例の一部改正について

施設の管理に指定管理者制度を導入できるよう、所要の規定を条例に加えるものです。

◆やつしろハーモニーホール条例の一部改正について

球磨川駅地区土地区画整理事業の完了による住居表示の変更に伴い、施設の位置の表示を変更するものです。



やつしろハーモニーホール

人事議案・二件

◆人権擁護委員候補者の推薦について
(坂本町・久保田るり子氏)

◆固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
(稲田新一氏)

一般質問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、六月十一日から十四日までの四日間、十四人が通告・登壇し、幅広い、活発な論議が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。



経済

八代港の振興について

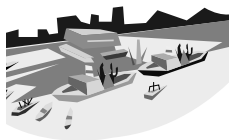
田中 安

問 八代港の整備で水深十四メートル岸壁が平成十九年度では、全国唯一新規着工されることが決定された。非常に慶賀すべきことである。

八代港を利用される企業の考え方等、有意義な活用の方々と今後のポートセールスについての方針を問う。

(ほかに中心市街地活性化基本計画について質問あり)

答 市長 五・五万トン岸壁が完成することにより、地元港運業者は物流コストが削減され、企業の競争力が向上すると期待を寄せている。また、新たな雇用創出や企業進出による経済波及効果も考えられる。今後、八代港は九州の中心に位置する地理的優位性を生かし、官民一体となったポートセールス活動を展開し、取扱量の増加につなげたいと考えている。その結果が中心市街地活性化にもつながると期待している。



JRAと鳩山周辺整備 中村 和美

問 日奈久平成町へJRAの進出の動きが見える。市は進出前にインフラ整備にかかるが、同時に鳩山と中海の整備が観光上必要と思うが市の考えを伺う。

(ほかに二見校区におけるブロードバンド整備、市道八の字線における交通事故防止対策、八の字橋から植柳橋までの自歩道整備などについて質問あり)

答 企画振興部長 日奈久の鳩山周辺は、天草諸島を望める景勝地として芦北海岸県立公園地域の一部となっており、以前は海水浴客でにぎわい、現在も住民が貝堀りを行うなど地域生活と深く結びついている。

鳩山については、昭和六十三年に寄附いただいているが、现阶段では具体的な計画はない状況である。

今後、寄附いただいた方の御意向や地域生活とのかかわりなど周辺の土地利用も踏まえ、日奈久の活性化に資する目的で、どのような活用ができるか検討する必要があると考える。

福祉

国保特定健診の義務化

堀口 晃

問 医療制度改革に伴い、平成二十年度より五カ年間で、医療保険者に対し、特定健康診断の健診率を六十五%にすること、特定保健指導の健康指導を四十五%行うこと、またメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の十%削減が義務づけられた。この目標を達成するための実施計画はあるのか問う。

答 健康福祉部長 平成十九年度に特定健診・特定保健指導のモデル事業として国保ヘルスアップ事業を行う。この事業を通して健診率や保健指導率等を上げるための方法・手段を探りたい。

また、住民へは徹底して健診の周知・啓発を行い、意識の向上を図っていきたい。

さらに、受診しやすい健診体制を構築することも健診率アップのための重要な要素であることから、今後、特定健診等実施計画として検討していく。

子育て支援策について

大倉 裕一

問 多子世帯への経済負担の軽減を目的とし、第三子以降三歳未満児の保育料無料化が始まった。目的からすると、市内居住者すべての多子世帯を対象とすべきであり、それが市民に対する公平なサービスと考える。

答 認可外まで保育料無料化を拡大する考えを問う。
また、乳幼児医療費助成手続の簡素化の検討状況を問う。

AEDの設置状況

田方 芳信

問 児童生徒が活動中に突然倒れ、心肺停止状態になったときでもAED(自動体外式除細動器)で助かったという報道を聞く。

答 そこで県内や本市における各学校・園におけるAEDの設置状況はどのようなになっているか、また今後の設置についてはどのように取り組まれるのかを問う。
(ほかに児童生徒の生活習慣病などについて質問あり)

開発

側道の交通安全対策

百田 隆

問 敷川内町から平山新町の区間で、重大事故が多発している。ついては、信号機の設置が必要と思われるが、市は関係機関に要望する考えはないかを問う。

答 (ほかに芦北干拓における日奈久活性化、八代市二見自然の森の利用状況について質問あり)

答 健康福祉部長 認可外保育所は、国の基準に基づく県の認可を受けていない保育施設であることから、国・県・市が責務を負う施設ではなく、また、保育料についての基準がないこともあり、保育料の助成は難しい。
乳幼児医療費助成手続については、受診したときに申請書を医療機関に提出するだけで手続が済むような方法の導入に向けて、医師会や収集業者などの関係機関と申請書の回収方法や様式変更、電算システムの改修などについて協議を重ねている。

答 教育長 県内の状況は、幼稚園、小中高等学校、特別支援教育学校などにおいて少しずつ普及が進められている。県立学校においては、平成十八年度中にすべての学校に設置されているが、本市においては、まだ未設置の状態である。教育委員会としては、運動量も多く、心身ともに著しく成長する時期である中学校から順次整備を進めたいと考えている。
あわせて、講習会なども行いながら学校関係者へのAEDの使用方法などについて普及・啓発に努めてまいりたい。

答 市民環境部長 日奈久インター開通後、年々この道路の通行車両はふえており、昨年、この路線全体で八件の人身事故が発生し、非常に危険な状況であると認識している。
信号機の設置については、道路幅員や交差点形態等、問題も生じることが予想されるが、安全な交通の確保のため、信号機の設置を含めた対策を、関係課並びに警察当局とも協議し取り組んでいきたいと考えている。



信号機の早期設置が望まれる西回り自動車道側道の交差点

行政

高校再編・統合計画

竹田 誠也

問 熊本県教育委員会が公表した八代工業高校・八代東高校両定時制、八代南高校と氷川高校の再編・統合計画について問う。

答 企画振興部長 氷川高校が八代南高校と再編統合となった場合、この地域の生徒は通学の距離と時間が大幅に増大、生徒と保護者の負担が増加し、進路選択の際の貴重な選択肢を失う。また、氷川高校が同地を去れば、町の活気はなくなる懸念される。
再編・統合については、市民の理解を得ることはもとより、地域の実情や歴史的な背景等も考慮する必要がある。今後県当局に対し、地域住民や関係者等に対する十分な説明を求め、存続に向けた取り組みを行いたい。

支所機能のあり方

亀田 英雄

問 現在、住民と行政の協働ということが叫ばれているが、この作業は住民自治を推進するとともに、行財政改革においても重要なかぎを握ると思える。

答 周辺地域ではこのことについて、地域特性を把握し、住民により近い支所の果たす役割は大きいと考えるが、その機能と位置づけについてどのように考えているか伺う。

答 企画振興部長 市では、小学校区を単位とする新たな住民自治組織の設置の検討を進めている。住民と行政の信頼関係の構築、組織化に伴う支援など、地域の環境特性、歴史・文化等の実情を考慮し推進しなければならぬことから、地域の窓口として支所の果たす役割は大きい。

今後、行財政改革の観点から、本庁も含め支所機能の見直し作業が進められるが、支所が単に行政窓口としてだけでなく、地域振興や住民自治推進に向けての支援機能を果たしていくことが重要と考えている。

肥薩おれんじ鉄道

田中 茂

問 同鉄道は三年前に開業し、九年間は黒字と言われていたが、二年目から赤字となり、三年目は大幅な赤字となる見通しである。この状態では出資自治体の赤字補てんが早まる懸念がある。同社取締役としての市長に今後の運営方針と経営改善について問う。

(ほかに水処理センターなどについて質問あり)

答 市長 昨年、肥薩おれんじ鉄道経営検討委員会が設立され、経営環境悪化の要因分析と、実効性のある改善策の検討を行っている。

今後は経営改善計画案を策定予定で、その計画を着実に実行し、経営改善の実を上げるとともに、国及びJR九州に対し引き続き支援拡大を訴えていきたい。

当初の経営基本計画の見通しに反し、開業二年目からの赤字と、その拡大は問題であり、熊本・鹿児島両県において抜本的な支援策を講じていただくことが必要不可欠と考えている。

住民税問題について

笹本 サエ子

問 今回の住民税改正は、低所得者ほど負担増となり、重税感が強いと市民は怒っていると思われる。法定減免以外に、地方税法第六条では「地方団体は、公益上その他の事由に因り課税を不適当とする場合においては、課税をしないことができる。」とされているが、本市での減免措置の考え方について伺う。

答 総務部長 市民税の減免は、

地方税法を根拠として、市税条例に定められている。減免は、生活保護や災害等により所得が減少した場合など、担税力が極めて厳しいと認められた方に対し、その状況に応じて、個別に減免するものである。

今回、全国一律の「地方税法改正」であり、所得が低額であることだけを理由に、市独自で減免を適用することは、適当ではないと考えている。



多重債務者問題

幸村 香代子

問 国民の五十人に一人と言われる多重債務者の問題は深刻である。政府は、その対策として、「多重債務問題改善プログラム」を決定した。その内容は、住民に最も近い、地方自治体の役割が重要になっていく。本市の対応について問う。(ほかにアウトソーシングの取り組み、指定管理者制度について質問あり)

答 市長 多重債務問題の解決を目的に、「多重債務問題改善プログラム」が国において決定され、地方自治体の取り組みとして、「地方自治体内の連携」、「相談窓口における対応の充実」等が挙げられている。

本市は、既に消費生活相談で多重債務問題にも対応しているが、深刻化する現状を、真剣に受けとめており、多重債務者が抱える問題を総合的に解決するために、さらに関係部局が連携し、多重債務問題の早期解決に向けた体制整備を行いたいと考えている。

下水道会計の繰上充用

木田 哲次

問 下水道特別会計で、赤字補てんのための一般会計からの基準外繰り出しをやめ、使用料金改定による繰り上げ充用の措置がとられた。

基準外繰り出しをしなかった財政担当の所見を伺う。

また、今後の下水道事業の展開を、昨今の財政事情にかんがみどう考えられるのか、建設部の見解を伺う。

答 総務部長 特別会計は特定の収入で特定の支出を賄うことが本来の姿と考えているが、従来から基準外の繰り出しも行ってきた。

しかし、一般会計では基金を取り崩して収支を図っている厳しい財政状況であるため、基準外繰り出しを抑制した。
建設部長 今後は、水洗化の促進や維持管理費の抑制、一層の整備コスト縮減や採算性を考慮した整備、適正な使用料の見直し等経営の健全化を図り、歳入不足を補う繰り上げ充用を四、五年で解消できるように努力する。

環境

落書き防止策について

太田 広則

問 本市において、落書きについては今まで大きな問題となっていないが、麦島校区の通学路トンネル等、長年放置したままのところもあった。落書きは軽犯罪であるとの認識を広く市民に認識していただくため、今後の落書き防止策を伺う。

(ほかに地方財政健全化法案、本市における最新の文書管理について質問あり)

答 建設部長 県道や市道等の複数箇所には落書きの被害を受けている状況である。一般の通行に支障となる場合は道路管理者で消去する場合もあるが、そもそも、道路等の公共施設への落書きは不法行為であり、加害者に対しては、告訴・告発等、厳しい対応や消去を求めていく。

また、通常の道路パトロールでは防止し切れない状況となっており、被害を受けやすい箇所には、被害後の復旧を容易にする特殊塗装を実施し、予防策を講じたいと考えている。

廃食用油の燃料化

矢本 善彦

問 燃えるごみとして排出されていた家庭からの廃食用油を資源として有効利用する取り組みが、全国的に広がっている。本市でも、実験的に廃食用油からつくったBDF（バイオディーゼル燃料）を、公用車一台に使用することだが、今後の市の考え方を伺う。(ほかに休廃校施設の利活用について質問あり)

答 市民環境部長 昨年九月から日奈久校区婦人会が廃食用油の回収を行い、これを原料にNPO法人「WE(ワイ)」と民間業者が連携し、BDFを製造している。市では、BDFの利用拡大を視野に入れ、一年間無償で提供を受ける協定を「WE」と結び、公用車に実験的に使用することとした。
循環型社会形成のため、廃食用油の回収量をふやし、良質な燃料をより多く効率的に製造することなどが、今後の課題である。

市議会を傍聴しませんか？
お気軽にお越しください。

車いすでいらつしやる方、手話通訳を希望される方は、事前に、市議会事務局までお申し出ください。



手話による会議の通訳



車いすで来られる方のための傍聴スペース

委員 会 報 告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、総務委員会、建設環境委員会、文教福祉委員会、経済企業委員会の四つの常任委員会に付託することで審議がなされています。（また、特定の問題については、必要に応じて市議会の議決によって設置された特別委員会において審査・調査されます。）

これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長により本会議において報告が行われます。
ここでは六月二十二日に行われた委員会報告を抜粋して掲載いたします。

文教福祉委員会

◆平成十九年度八代市一般会計
補正予算・第一号・こどもプラ
ザ事業について

説明 本事業は、八代市次世代育成支援行動計画に基づき、八代サテライト地に建設される大型商業施設の二階に、仮称・こどもプラザを設置し、つどいの広場事業とファミリー・サポート・センター事業を実施するものであり、同プラザの床面積は百五十四・八平方メートルで、九月初旬のオープンを予定している。

答 国の次世代育成支援交付金は、子育て支援関係の事業ごとにポイント換算が行われ、それに基づく額と実績額とを比較して、低いほうの額の二分の一が交付金の額とされるもので、本市の場合、ポイントにまだ余裕があるため、ファミリー・サポート・センター事業については、今後も十分交付されると見込んでいる。

また、つどいの広場事業については、本年度、国が特に本事業を全国的に拡大する方針を出しており、国と県で、合わせて補助率三分の二の補助金を計上したものである。

問 つどいの広場とファミリー・サポート・センターの床面積の決定に至るまでの経緯について問う。

答 床面積を百三十一・五平方メートルと二十三・三平方メートルとに一応分けているが、厳密には仕切りはなく、補助金等の申請手続上、このような面積割合となった。

問 二つの事業に対する国県補助金などの継続的交付について問う。



振興センターいづみで
行われている「つどいの広場」

経済企業委員会

◆平成十九年度八代市一般会計
補正予算・第一号・石匠館の施
設整備費について

説明 多目的ホールの床下が雨水侵入により腐食し、現在使用できない状況にあるため、床の全面張りかえ、排水設備の改修、外壁防水処理を行うものである。

問 床下腐食の原因究明の経緯について問う。

答 昨年、床のたわみが見つかり、床下に水がたまっていることが確認されたので、施工時の設計・施工業者に連絡をとったものの、会社が倒産しているなど、当時の状況把握も困難であった。

そこで、大雨の際の状況等を確認したところ、現在の雨水処理施設では不十分であるとの結果となった。その対応策も含め、補修工事内容が今回固まったので、補正をお願いするものである。

説明 石匠館の現状として、平成十八年度入館者数が五千七百八十六名、入館料総額が八十八万七千三百五十円、職員は、館長一名、職員二名の計三名である。

建設環境委員会

問 本施設に係る予算は商工費に位置づけられながらも、歳入となる入館料総額に比べ、歳出予算に千二十万を要し、今回は施設整備費として八百五十万円必要ということである。

教育文化施設としてなら理解可能な部分もあると思うものの、この現状について執行部の認識はいかがか。

答 八代市行政改革大綱に沿って、今後は近隣施設の状況を踏まえながら、指定管理者制度導入等を検討していきたい。

意見 ほかに所管部課や運営方法等について検討を要する施設があるように思う。執行部におかれては、実情把握に努め、取り組んでいただきたい。



石匠館（東陽町）

◆平成十九年度八代市一般会計補正予算・第一号・日奈久埋立地整備事業について

説明 平成二十一年の日奈久温泉開湯六百年に向け、日奈久埋立地の整備推進及びJRA誘致の早期実現を図るため、八代市土地開発公社から埋立地（約九五ヘクタール）を購入し、道路及び多目的広場の設計を行うものである。

問 本整備事業委託料の、道路測量設計と多目的広場測量設計の内訳について問う。

答 埋立地の多目的広場五ヘクタールの測量設計委託として、約二千五百万円を予定している。残りが、埋立地内の道路設計や測量、そのほか国道三号等の改良分となる。

問 この道路設計等については、進出を予定されているJRAとも話をしながら進めているのか問う。

答 JRAからは、おおむね、山口県にあるウインズ小郡並み

であれば進出を検討するということであり、市としては約四五ヘクタールを検討しており、その残りを多目的広場にと考えている。また、現段階においてはJRAの進出が決定したものであるが、本市とJRA両者間の協議は継続的に進めており、先日、JRAでは、国道三号の交通量調査を行うなど具体的な作業も進んでいることから、市としてはJRA進出に対して非常に希望を持っており、進出に向けて市も今後努力をしていきたい。

◆八代市水処理センター改築工事に係る契約の締結について

説明 八代市水処理センターは、昭和六十年三月に供用開始し、現在二十二年が経過し、機械電気設備の老朽化による機能低下や、安全性の確保が困難になってきている。

そこで、平成十九年度から平成二十三年度までの五カ年間で改築工事の契約期間とし、長期にわたり安定した処理施設に改築するための日本下水道事業団との基本協定の承認を願うものである。

今回改築工事が予定される主な施設設備は、水処理施設においては、沈砂池、主ポンプの機械電気設備、最初沈殿池の防食、汚泥処理施設で、汚泥濃縮・汚泥脱水の機械電気設備、管理棟においては、監視制御の電気設備である。

また、契約の相手方である日本下水道事業団については、地方公共団体の支援機関であり、専門的な技術力、総合的な検査等の能力、豊富な実績と経験を持ち、改築工事の適正な執行が可能で、工事引き渡し後のアフターケアも十分であり、効率的かつ経済的であることから委託するものである。

問 契約の管理料について問う。

説明 管理諸費については、各年度の事業費で計算されることとなり、年度の事業費が、五億円以下の金額に對して五・三％、五億円を超え十億円以下の金額に對して四・三％、十億円を超える金額に對しては三・三％である。



八代市水処理センター(新港町)

総務委員会

◆八代市総合計画基本構想を定めることについて

問 にぎわいのある観光のまちづくりの具体的な計画について問う。

答 平成二十一年には日奈久温泉開湯六百年、それから、平成二十三年には九州新幹線の全線開業により、九州各地大競争、大交流時代を迎え、それぞれの地域が新たな観光客の誘致を進めているところである。

市としても、市内各地域にある観光資源を生かし、それらを結びつけた観光ルートづくりを進めていかなければならないと考える。今回提案しているのは基本的な方向を示した基本構想であり、今後、より具体的な基本計画、実施計画を策定していきたい。

要望 合併して約二年が経過しているが、各地域の歴史的遺産や観光資源等を生かした観光づくりの動きが見えてこない。試行的にでもいいので、具体的な行動を起こしていただきたい。

問 基本構想及び基本計画策定に要するコンサルタント委託料と委託内容について問う。

答 委託料として平成十八年度が九百八十七万七千円、平成十九年度が八百二十二万七千円となっている。委託内容としては、基礎調査の分析・取りまとめ、アンケート調査票の設計、調査票の印刷・配付・回収、各種ヒアリング等があり、基本構想の策定においては、基本理念の提案、目標の構成案作成、施策大綱の構成案作成、方針の構成案作成、基本構想たたき台の作成となっている。

問 基本計画の策定方法について問う。

答 基本構想と同様に、基本計画についても引き続きコンサルタントに助力をお願いしながら、市職員で構成する策定委員会、起案委員会及び起案専門部会や外部の策定審議会で議論を重ねながら、本市独自の計画を策定していきたい。

要望 他の自治体のすばらしいところを参考にしながら進めたいところが、市民と行政の協働がより推進されると考える。八代市に合った、より独自性のある計画にしていきたい。

意見書

六月定例会において意見書案一件が提出され、全会一致で原案どおり可決され、次のような要旨をもって、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書

ここ数年、数十年に一度というレベルの異常気象が頻発している。こうした異常気象や猛暑は、地球温暖化による疑いが濃厚であると多くの識者が指摘しているところである。

このような状況下、環境立国を目指す日本は、海岸保全や防災のための施策はもちろん、確実に地球環境をむしろ悪化させている地球温暖化を防止するための抜本的な施策を講ずべきである。



永年勤続議員表彰

全国市議会議長会第八十三回総会において、永年勤続議員の表彰があり、本市では二名の議員が受賞されました。

(十五年以上) 藤井次男議員

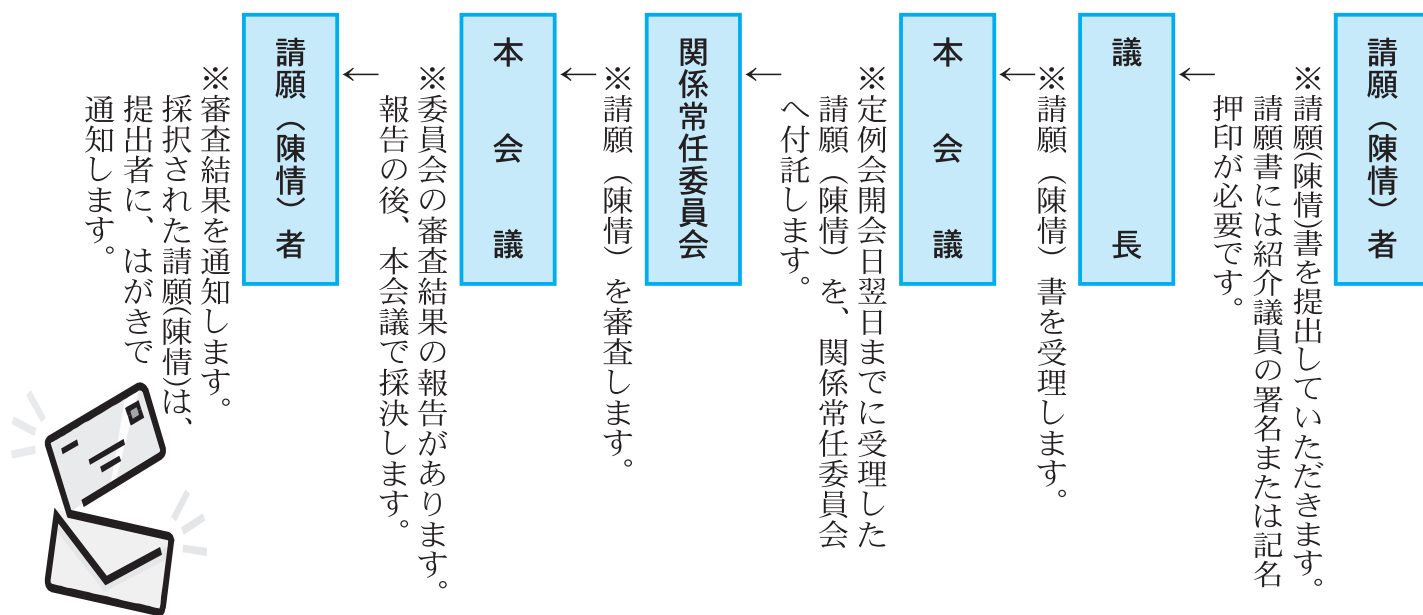


(十五年以上) 山本幸廣議員



請願・陳情の審査の流れ

- ◆市政に対する皆さんのいろいろな要望は、請願または陳情として、いつでも市議会に提出することができます。
- ◆提出された請願・陳情は、次のような流れで審査されます。
- ◆なお、採択された請願・陳情は、市長に対してその処理の経過と結果の報告を求めたり、国へ意見書を送付するなど、要望の実現に向けて処理されます。



請願・陳情の書き方（例）

- ◆件名、要旨、理由はわかりやすく、はっきりと書いてください。
- ◆団体の場合は、名称、事務所の所在地以外に、代表者の住所、氏名、押印が必要です。
- ◆陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。

……に関する請願（陳情）書

要旨

理由

平成〇年〇月〇日

八代市議会議長

〇〇〇〇様

（本文）

……に関する請願（陳情）書

代表者 住所

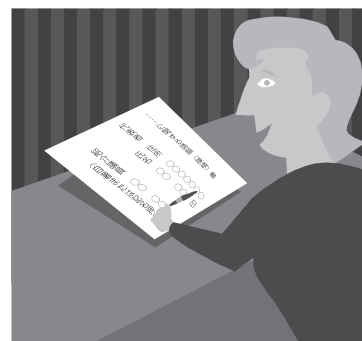
氏名

印

紹介議員

（自署または記名押印）

（表紙）



- ◆御不明な点がございましたら、議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会審議結果一覧

* 請願・陳情で継続審査になったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第52号	平成19年度八代市一般会計補正予算・第1号	6.22	原案可決
〃	議案第53号	平成19年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第2号	6.22	原案可決
〃	議案第54号	平成19年度八代市診療所特別会計補正予算・第1号	6.22	原案可決
〃	議案第55号	専決処分の報告及びその承認について（熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、共同処理する事務変更及び規約の一部変更について）	6.22	承認
〃	議案第56号	専決処分の報告及びその承認について（八代市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例）	6.22	承認
〃	議案第57号	専決処分の報告及びその承認について（八代市市税条例の一部を改正する条例）	6.22	承認
〃	議案第58号	専決処分の報告及びその承認について（八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	6.22	承認
〃	議案第59号	専決処分の報告及びその承認について（八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）	6.22	承認
〃	議案第60号	専決処分の報告及びその承認について（八代市職員定数条例の一部を改正する条例）	6.22	承認
〃	議案第61号	専決処分の報告及びその承認について（平成18年度八代市一般会計補正予算・第9号）	6.22	承認
〃	議案第62号	専決処分の報告及びその承認について（平成18年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第3号）	6.22	承認
〃	議案第63号	専決処分の報告及びその承認について（平成18年度八代市介護保険特別会計補正予算・第3号）	6.22	承認
〃	議案第64号	専決処分の報告及びその承認について（平成18年度八代市日奈久温泉施設特別会計補正予算・第2号）	6.22	承認
〃	議案第65号	専決処分の報告及びその承認について（平成19年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第1号）	6.22	承認
〃	議案第66号	専決処分の報告及びその承認について（平成19年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第1号）	6.22	承認
〃	議案第67号	八代市総合計画基本構想を定めることについて	6.22	原案可決
〃	議案第68号	あらたに生じた土地の確認について	6.22	可決
〃	議案第69号	町区域の変更について	6.22	可決
〃	議案第70号	市道路線の廃止について	6.22	可決
〃	議案第71号	市道路線の認定について	6.22	可決
〃	議案第72号	契約の締結について	6.22	可決
〃	議案第73号	八代市東陽地域福祉保健センター条例の一部改正について	6.22	原案可決
〃	議案第74号	やつしろハーモニーホール条例の一部改正について	6.22	原案可決
〃	議案第75号	人権擁護委員候補者の推薦について（久保田るり子氏）	6.22	同意
〃	議案第76号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて（稲田新一氏）	6.22	同意
陳情	第4号	八代北部地域における夜間小児科診療体制の整備方について	6.22	採択
議員	発議案第3号	八代市議会会議規則の一部を改正する規則案	6.22	原案可決
〃	発議案第4号	八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案	6.22	原案可決
〃	発議案第5号	異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書案	6.22	原案可決

編集後記

諸行無常の例えのとおり、世の移り変わりを厳しく感じます。特に合併後の二年間は私たちの身の回りにも、大きな変化がありました。

このような変化の大きい時期においては、かじ取りが難しく、勇気を持って判断し、時代の流れに即応した対応が求められるものであります。そのような中、今議会でもさまざまな論議が交わされました。

激変する社会経済情勢の中でも住民ニーズを的確に把握し、皆さんの生活向上につなげていくことが、奉仕者である議員の務めであることを念頭に、毎日を頑張っています。

現在の編集委員での議会だより作成は最後になりますが、今後とも皆様に愛され、親しみを持って読まれることを願っています。

八代市議会広報編集委員会

座長 清水 弘
委員 大倉 裕一
亀田 英雄
鈴木田 幸一

表紙「五家荘渓流キャンプ場」
お問い合わせ先

(〇九六五) 六七一五四四八